ミニチュア減圧弁 ARJ210 Series

本体材質がアルミで軽量 (60g)

IN側配管接続は½(おねじ)と M5(めねじ)の2種類



ARJ210-M5BG

JIS記号



標進什様

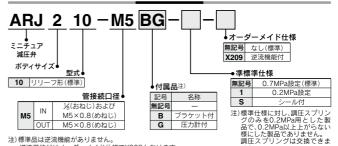
10. 1 IZ 10.				
型式		ARJ210-M5		
管接続口径	IN側	%(おねじ)およびM5×0.8(めねじ)		
	OUT側	M5×0.8(めねじ2ケ所)		
使用流体		空気		
保証耐圧力		1.2MPa		
最高使用圧力		0.8MPa		
設定圧力範囲		標準: 0.2~0.7MPa		
		0.2MPa設定 0.05~0.2MPa		
圧力計接続口径		M5×0.8(めねじ)		
周囲温度および使用流体温度		-5~60℃ (凍結なきこと)		
構造		リリーフタイプ		
質量(kg)		0.06		

付属品(オプション)・部品番号

ブラケット	134856
圧力計注)	G27-10-R1

注)圧力計別手配の場合は、ソケットアセンブリ(134828A)が必要です。 圧力計取付けの際は、ねじ部破損防止のため、ソケットアセンブリを固定して取付けてください。 G27の0.2MPa仕様はありません。

型式表示方法

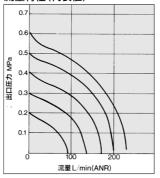


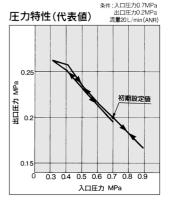
注)標準品は逆流機能がありません。

逆流機能付はオーダーメイド仕様でX209となります。 入口圧力の排気により主弁が開き、出口圧力が入口側に逆流します。

X209では圧力計(G27-10-M-X202)付の仕様となりますので、付属品 にGの表示は不要です。

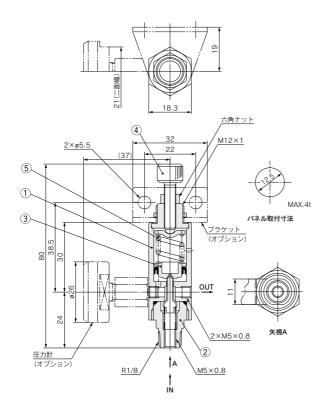
条件: 入口圧0.7MPa 流量特性(代表值)







構造/外形寸法図



番号	部品名	材質	備考
1	ボディ	アルミニウム合金	黒色アルマイト
2	バルブガイド	黄銅	無電解ニッケルめっき
3	ピストン	POM	
<u>4</u> 5	調圧スクリュ	鉄	ニッケルめっき
5	調圧スプリング	鋼線	亜鉛クロメート

▲ 製品個別注意事項

ご使用の前に必ずお読みください。 安全上のご注意につきましてはP.9、各 シリーズごとの共通注意事項につきま してはP.13~17をご確認ください。

選定

⚠警告

- ①電磁弁とアクチュエータの間に設置してのチェック式レギュレータとしては使用できません。 破壊や作動不良の原因になります。
- ②配管をする際は、IN側の時は、バルブガイドの 二面幅(対辺11)を、OUT側の時は、ボディの六 角部を保持して、下表にある推奨適正トルクで 締め付けてください。過大な締め付けや指定以 外の部分の保持は破損の原因になります。
- ③製品の配管時やハンドル操作時等、製品に無理な曲げモーメントをかけないようにしてください。破損の原因になります。

推奨適正トルク

接続ねじサイズ	推奨適正トルク N·m	備考		
M5	1.0~1.5	手締め後、締込み工具を 用いて約1/6~1/4回転増 締めした時の目安トルク		
R1/8	7~9	_		

△注意

- ①流量特性の入口圧力条件より低い入口圧力 でご使用の場合、出口側の圧力降下量が大き くなる場合がありますので、実機で確認して ください。
- 圧力制御機器の選定方法につきましては、製 品選定ガイドをご参照ください。

取付け・調整

⚠警告

①入口圧力および出口側の圧力計の表示圧を 確認しながら設定を行ってください。必要以 上にハンドルを回し過ぎますと内部部品の 破損の原因になります。

▲注意

- ①圧力調整はロックを解除して行い調整後は ロックしてください。
- 手順を誤りますとハンドル破損および出口 圧力が変動する原因になります。
- 〈ロック操作方法〉
- ロックナットを緩めるとロック解除、締めつ けるとロックされます。 電磁弁とアクチュエータの間に設置し、チェ
- ②電磁弁とアクチュエータの間に設置し、チェック式レギュレータとしての使い方はできません。(X209は除く)
- ③圧力計又はプラグが取り付いているポート からもOUTポートとして使用可能です。

保守点検

⚠警告

①逆流機能付ミニチュア減圧弁を電磁弁とア クチュエータなどの間に設置して使用する 場合、圧力計の定期点検を行ってください。 急激な圧力変化が起こることがあり耐久性 が落ちる場合があります。状況によっては、 電子式の圧力計をお勤めします。 ARJ AR425

~935 ARX

AMR ARM

ARP

IR□-A IR

IRV

VEX SRH

SRP

SRF WR WF

ITV

IC ITVH

ITVX

PVQ

VY1 VBA VBAT

AP100